

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第5回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成22年1月29日（金）午後7時00分～9時45分
開 催 場 所	緑が丘ふれあいセンター会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（座長）渡辺龍也、（副座長）杉澤幹生、高木寛之、（委員）安島敏市、伊藤輝男、木村祐子、鴻田臣代、小西喜芳、塩田和行、藤崎由美子、（欠席）飯塚十日子、佐々木久子、中島秀雄、藤本信子 （事務局）地域振興課長、地域振興課主査、地域振興課副主査
報 告 事 項	1 第4回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について 2 その他
議 題	議題1 市民協働のまちづくりについて 議題2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	第5回武蔵村山市市民協働推進会議 報告事項1 2月5日（金）までに訂正等の連絡をする。 報告事項2 その他 パワーアップ講座を2月1日から電話受付をする。 議題1 市民協働のまちづくりについて 会議で議論した内容の修正版を次回会議前に修正を行った後、修正版について委員に2月中に送付する。 議題2 その他 第6回会議 3月9日（火）午後7時から開催する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局	第4回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について 報告事項1 2月5日（金）までに訂正等の連絡をする。 報告事項2 その他 ●パワーアップ講座 「協働事業提案制度の実現に向けて・“想い”を形にするために」をテーマにパワーアップ講座を2月1日から電話受付をする。委員の方にも参加していただきたい。 議題1 市民協働のまちづくりについて ●前回12月の会議において武蔵村山市協働事業提案制度について（仮称）検討したが、会議での指摘事項などを踏まえ、基本的な流れは変わっていないが、制度案をリニューアルしたもので、この素案の制度内容をベースとして、来年度実施するために必要な流れや、調整すべき事項などについて示した。 提案制度について、3月中に制度内容を集約し、報告書を作成する。 ●すでに事前に配布した、平成22年度武蔵村山市協働事業提案制度（市民提案型まちづくり事業補助金）については今回の案では、募集区分を1、団体育成部門、2、協働事業部門の2本立てとした。 1の団体育成部門は、事業実施のための、基礎的な力が今はないが、今後強化したい団体の育成を目的とした部門である。なお、事業の実施にあたっては、原則として提案者が単独で行っても構わないが、市の関係部署との連携を図っていただきたい。 2の協働事業部門は、原則として単発のイベントではなく、事業の継続性や発展性があり、市の事業として定着できる事業の提案を期待するもので

ある。

なお、事業の実施にあたっては、市の所管部課との協働を前提として、企画立案から事業実施、事業終了後の評価の段階まで一貫して連携を図ることになる。

<募集区分と補助の内容>

1 募集区分と補助の内容について、1の団体育成部門における補助金額は、対象となる経費の100%を補助し、5万円以上で30万円を上限額とする。なお、補助回数は同一の事業内容で2回（年）までとする。

2の協働事業部門の補助金額は、同様に対象となる経費の100%を補助し、10万円以上で100万円を上限額とする。ただし、2回目以降は前回の事業費収入額を差引いた経費を補助対象経費とする。なお、補助回数は同一の事業内容で3回（年）までとする。

3頁の事業期間の応募対象となる事業期間は、平成22年度4月以降の提出については、平成23年4月1日から平成24年3月31日までに実施する事業を単年度とする。なお、複数年にまたがる計画事業についても、単年度単位の事業に対し補助金を交付するため、回数制限の範囲で再応募することになる。

5頁の審査機関の(2)本審査として、書類審査（一次審査）と二次審査の公開プレゼンテーションは変わらないが、9頁の武蔵村山市協働事業提案制度審査会構成員（案）のメンバー10名を構成員とした。

6頁の4補助の対象経費は新たに加えた項目で、事業の実施に必要な経費でも、補助の対象になるものと、ならないものがあるので注意が必要。

7頁の5応募受付から成果の公表までの主な流れを平成22年度ベースのスケジュール案として示した。なお、提案書提出期間は、平成22年8月1日～31日までとし、実質の事業実施期間は23年4月～24年3月末日までとする。

●進捗状況については、進行管理の確認は必要であるが、一年目は中間報告は必要がなく、2年目から報告していただく。ただし、実績報告書は事業終了後30日以内に提出していただく。

□協働事業提案制度の目的・制度の概要等について、御意見をいただきたい。

○補助金額の中で、上限額は良いが下限額は必要なのか。

●あまり経費が少ないと手続きの労力と費用対効果の問題もある。

○協働事業として、補助で実施するのか、委託で実施するのか、考え方を聞きたい。

○最初から、委託事業で行うのは難しいのでは。

●例えば、1年目はすべての事業を補助事業として行い、評価の段階を見て2年目は委託事業とすることもできる。また、1年目の評価でもすべて補助事業とし、もう1年実施した後に、定着性があると評価した事業を3年目で委託事業に切り換えるなど、本市の現状をみながら、やりやすい方法で実施してはどうか。

□制度の流れも様式類も分かりやすく、シンプルにした方がよい。

○対象となる事業とは、具体的にどのような事業か。

●福祉、子育て、環境等自由な発想と視点をまちづくりに活かした事業で公益性のある事業を前提とする。

○2頁の3応募要件などに係る応募資格のうち、予算・決算について義務づけると、該当する団体が少なくなるのではないか。

●提案する団体が予算・決算を意識していない団体だとすると、そのような団体に公金を預けるのは怖い面がある。NPO法人、自治会など経理等をしっかりしている団体で実績ある団体に限られてくるのは公金を扱う以

	<p>上仕方がないことである。</p> <p>○新規に団体をつくって、補助金をもらっている団体は育成に該当するの か。</p> <p>●育成となる。ただし、補助金を受けて紛失でもしたら問題なので、経理 の方法など1年間学びながらアドバイスをし、活動実績をつくっていただ くことになるだろう。</p> <p>○対象となる事業の要件として、新しい事業を提案する場合の考えは。</p> <p>□事業設立後、1年以上経過している場合に限るなど明記してよいのでは ないか。</p> <p>□6頁の補助の対象経費についての1、事業実施のために雇用した活動ス タッフ（アルバイト含む）と明記してあるが、現在のスタッフは該当しな いともとれるので、表現等をかえていただきたい。</p> <p>○事業実施のための活動スタッフの人件費という解釈でいいだろう。</p> <p>●その団体の中の一員でもその事業に携わっている期間の人件費になる。</p> <p>□事業実施に係わる事業スタッフの人件費は必要である。</p> <p>□補助の対象とならない経費の4、家賃については、事業実施のために一 定期間借りた場合には、対象としてよいのでは。</p> <p>○補助の対象経費については、議論を踏まえた上で反映していく。</p> <p>●7頁の主な事務の流れについて、初年度ベースの新規であればこのタイ ミングの流れで実施できるが、事業の実施が、2年目及び3年目の団体 では事業を実施しながら次年度の計画を立てるため、振り返る時間がない ので、継続事業を実施しながら初年度の流れ、2年目の流れを分けて考える べく課題とさせていただく。</p> <p>□協働事業提案制度審査会の構成員の提案は10名で構成されているが、 どう取り扱うか。</p> <p>○構成員は①学識経験者②市内社会福祉法人関係者③市職員④公募市民 で、全体では10名としてはどうか。</p> <p>□議論した結果、構成員は10名とする。</p> <p>議題2 その他（次回会議開催日程）</p> <p>●次回会議は3月9日（火）午後7時から、ボランティアセンター会議室 で開催する。</p> <p>●今回の会議で議論した内容について修正を加えた後、次回会議開催前の 2月中に資料を送付する。</p> <p>次回の会議では、最終報告のまとめを行う。</p> <p>なお、3月24日（水）午後2時から、市役所3階301会議室におい て、21年度最終会議を開催し、引き続き中間報告書を市長に提出する。</p>
--	---

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 []	傍聴者： _____ 0 人
-----------------	---	----------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____）
------------------	---

庶務担当課	市民生活部 地域振興課（内線： 224 ）
-------	-----------------------

（日本工業規格A列4番）